

城西大学 大学院 研究年報

(第 3 号)

日米労使関係比較研究特集

1987年 3 月



1980年代の日本の労使関係	
——アメリカ人学者の見解——S.B. レヴィーン...(1)
アメリカ労使関係の "三種の神器" モデル	
——アメリカ労使関係への試験的アプローチ——平 恒 次...(17)
技術革新と労使関係	
——文献による日米比較——小 野 恒 雄...(29)
現代日本労働者の "ニーズ" 抽出の試み	
——若年男子労働者——秋 元 樹...(53)
雇用構造の変化と労使関係	
——低成長下における労使の対応——笠 原 清 志...(83)
日本における労使関係研究の現況	
——外からみたこれからの課題——R. E. マ オ ア...(103)
(資 料)	
年譜：戦後日本の賃金変動川 村 春 彦...(119)
(昭和61年度修士論文要旨)	
(昭和59・60年度学務報告)	

城西大学大学院
経済学研究科

執筆 者 紹 介

ソロモン・B・レヴィーン (Solomon B. Levine)	ウイスクンシン大学教授 Graduate School of Business, Chair, Council on Japanese Studies
平 恒 次 (Koji Taira)	イリノイ大学教授 Institute of Labor & Industrial Relations
小 野 恒 雄	本学経済学部教授
秋 元 樹	本学経済学部助教授
笠 原 清 志	本学経済学部非常勤講師 (立教大学社会学部助教授)
ロ ス ・ E ・ マ オ ア (Ross E. Mouer)	グリフィス大学助教授 School of Modern Asian Studies
川 村 春 彦	本学大学院研究生

編輯後記

本号は「日米労使関係比較研究」として特輯した。その狙いは、両国の厳しい環境変化の下での労使関係の変容の解釈とその方向性を、比較文化論的に探ることにおかれた。

その内容は、実質的に三部から成る。初めに、アメリカ側研究者の眼からみた日本と米国の労使関係制度の形成と変化の背景を、現時点で再認識しようとするS・B・レヴィーン教授と平恒次教授の二論稿で飾る。続いて、日本の労使関係の変容のモチーフとなっているME技術、雇用構造、労働者ニーズなどの変化についてその特性の抽出を試みた日本側研究者の問題提起的な三つの論文をあて、最後に、日本の社会変動の分析の枠組みを労使関係研究の方法それ自体の課題として提起されたR・マオア教授の論述で締め括る。

寄稿された三人の外国人研究者は、これ迄長く日本の労使関係研究に携われ、定期的に訪日されて日本の状況推移をフォローされ、折にふれ本研究科の活動に好意と期待を寄せられている方々であるが、本号の企画を諒とされ、心よく御寄稿下されたことに対し、更めて深甚の謝意を表すものである。とくに、平教授とマオア教授には、御迷惑を承知の上で日本文の原稿をお願いした。レヴィーン教授の論稿の訳出には元ILO東京支局の水野義弘氏の御協力を得た。

本特輯が1980年代激動期の労使関係の国際比較研究の通文化的な文献の一つとなりうれば幸いである。なお、戦後日本の労使関係研究にとって不可欠な「春闘」を背景にもつ日本の賃金変動の40年を年譜の形で資料に掲載した。

終りに、昭和53年の本研究科の開設から今日まで、その活動を軌道にのせ強化するため、カリキュラムの編成、資料室の設置、研究年報の発刊などに研究科長として尽力された琴野孝教授には、都合により本年4月から他大学に転出されることになった。茲に記して謝意を表したい。

(小野)

城西大学大学院「研究年報」第3号

昭和62年3月発行

発行責任者 琴野 孝

印刷所 外為印刷所

発行所 城西大学大学院経済学研究科

埼玉県坂戸市けやき台1-1

電話 (0492) 86-2233 (代)

ANNUAL REPORTS

of
Josai Graduate School of Economics

March 1987

No. 3

*SPECIAL ISSUE : COMPERATIVE PERSPECTIVE ON
INDUSTRIAL RELATIONS IN JAPAN AND U. S.*

- Japanese Industrial Relations in the 1980's :
An American Scholar's ViewS.B. Levine...(1)
- American "Three Pillars" Model in Industrial Relations :
An Experimental Approach to the
Indusrrial RelationsKoji Taira...(17)
- Adjusting Industrial Relations to Technological Change :
Comparison of Literature in Japan and U. S.Tsuneo Ono...(29)
- Extraction of Workers' Needs in Japan Today :
An Experiment — Young Male Workers.....Tatsuru Akimoto...(53)
- The Changing Make-Up of Employment and
Industrial Relations :
Countermeasures undertaken by Labor and
Management in coping with the Low-growth
EconomyKiyoshi Kasahara...(83)
- The State of Contemporary Research on Industrial
Relations in Japan :
Some Problems seen from the OutsideR. E. Mouer...(103)
- (MATERIAL) Chronological Table : The Trend of Wage
Fluctuation in Postwar JapanHaruhiko Kawamura...(119)
-

Published Annually by
**Graduate School of Economics,
Josai University**

1-1, Keyakidai, Sakado-shi
Saitama, Japan